

2. 火山の概況

(平成17年3月24日～平成17年3月30日)

雌阿寒岳、十勝岳及び樽前山では、噴煙の状況に変化はなく、火口の高温状態が続いていたと推定される。

浅間山では火映が観測され、多量の火山ガスの放出が続いた。火山活動度レベル（以下レベルと記載）は3。

三宅島では噴煙活動が継続した。

阿蘇山では熱的な活動のやや活発な状態が続いた。レベルは2。

口永良部島では地震活動のやや活発な状態が続いた。レベルは2。

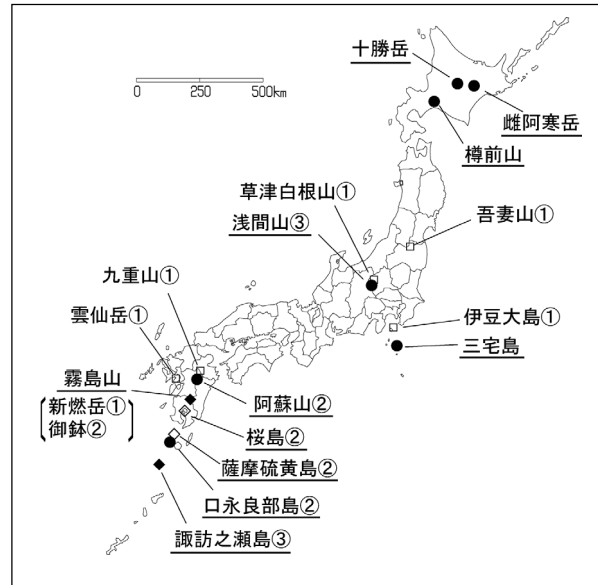


図1 各火山の今期間の火山活動度レベル及び記事を掲載した火山（火山名に下線）

号	対象期間	雌阿寒岳	十勝岳	樽前山	浅間山	三宅島	福徳岡ノ場	阿蘇山	霧島山	桜島	薩摩硫黄島	口永良部島	諏訪之瀬島
13	3/24-3/30	●	●	●	●	●		●	◆	◇	◇	●	◆
12	3/17-3/23	●	●	●	●	●		●	●	◇	◇	●	▲
11	3/10-3/16	●	●	●	●	●		●	●	◇	◇	●	▲
10	3/3-3/9	●	●	●	●	●	●	●	●	◇	◇	●	▲
9	2/24-3/2	●	●	●	●	●		●	●	◇	◇	●	▲

号	吾妻山	草津白根山	浅間山	伊豆大島	九重山	阿蘇山	雲仙岳	霧島山(新燃岳)	霧島山(御鉢)	桜島	薩摩硫黄島	口永良部島	諏訪之瀬島
13	①	①	③	①	①	②	①	①	②	②	②	②	③
12	①	①	③	①	①	②	①	①	②	②	②	②	③
11	①	①	③	①	①	②	①	①	②	②	②	②	③
10	①	①	③	①	①	②	①	①	②	②	②	②	③
9	①	①	③	①	①	②	①	①	②	②	②	②	③

表1 最近1か月に記事を掲載した火山（左）及び各火山のレベル

注1 記号の意味

- ▲：噴火した火山 ●：活動が活発な状態にあるか、もしくは観測データ等に変化があった火山
- ◆：前期間まで▲や●で掲載し、その後の状況等を掲載した火山 ◇：その他記事を掲載した火山
- ：記事を掲載していないレベル対象火山 ①②等の丸付き数字：火山活動度レベル

注2 記事は、▲、●及び◆（注1参照）に該当する火山及びレベル2以上の火山について掲載する。その他の火山については、特記事項のある場合に掲載する。

注3 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、変化があった観測データ項目を示す。

● 雌阿寒岳 [熱]

ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙の状況に変化はなく、高温の状態が続いていたと推定される。

● 十勝岳 [噴煙・熱]

62-2 火口の噴煙活動は活発な状態が続いており、高温の状態が続いていたと推定される。遠望カメラによる噴煙の高さは火口縁上おおむね 200mで推移した。

● 樽前山 [熱]

A火口およびB噴気孔群の噴煙の状況に変化はなく、高温の状態が続いていたと推定される。

● 浅間山 [噴煙・火映・地震・微動・火山ガス] レベル3 (山頂火口で小～中噴火の可能性)

今期間、噴火は観測されなかった。

白色噴煙は山頂火口より連続して噴出しており、最高で火口縁上約400mまで上がった。また、微弱的な火映が27～30日の夜間に山麓の高感度カメラで観測され、30日夜には火口の北北東4km付近から肉眼でも観測された。

火山性地震は1日あたり56～84回、火山性微動は0～3回観測された。

29日に実施した二酸化硫黄放出量の観測では、放出量は1日あたり2,300～4,700トンと引き続きやや多い状態であった(前回(3月10日)は3,300～4,900トン)。

● 三宅島 [噴煙・火山ガス]

白色噴煙は山頂火口より連続して噴出しており、最高で火口縁上約200mまで上がった。今期間は二酸化硫黄放出量の観測は行わなかったが、三宅村の火山ガス濃度観測によると、山麓ではたびたび高濃度の二酸化硫黄が観測されており、火口からの多量の火山ガス放出が継続していると推定される。

火山性地震は1日あたり0～3回と少ない状態であった。

● 阿蘇山 [熱・土砂噴出・微動・地震] レベル2 (やや活発な火山活動)

29日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、中岳第一火口の状況は、湯だまりの色は灰色、量は約3割で、表面温度は68℃と前回(3月16日、77℃)より低下したもののやや高い状態であった。湯だまりの中央部付近で約10m、その他数箇所ですら2～3mの高さの土砂噴出が観測された。

噴煙は白色で噴煙の高さの最高は火口縁上約200m(前期間は600m)であった。

孤立型微動の発生回数は670回で前期間(554回)より増加した。火山性微動の発生はなかった(前期間もなし)。火山性地震の発生回数は318回で前期間(247回)より増加し、やや多い状態であった。

地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

◆ 霧島山 御鉢：レベル2 (やや活発な火山活動)・新燃岳：レベル1 (静穏な火山活動)

今期間、監視カメラによる観測では、御鉢火口の噴気は観測されなかった。また、28日に継続時間の短い振幅の小さな火山性微動が1回発生したが、噴気活動、地震活動等その他の観測データに特に変化はなく、火山活動は全般的に静穏な状態で経過した。

◇ 桜島 レベル2 (比較的静穏な噴火活動)

期間中、噴火はなかった(前期間もなし)。25日及び26日に灰白色の噴煙が観測されたが(最高は25日の火口上約300m)、噴煙活動は比較的低調で、鹿児島地方気象台(南岳の西南西約11km)で降灰は観測されなかった(前期間もなし)。

◇ 薩摩硫黄島 レベル2 (やや活発な火山活動)

地震活動、噴煙活動等の観測データには特段の変化はなかった。

● 口永良部島 [地震・微動・噴気] レベル2 (やや活発な火山活動)

火山性地震は日回数に増減があるもののやや多い状態で推移し、期間中の回数は46回であった(前期間は52回)。火山性微動は、継続時間の短いものが時々発生し、期間中の回数は3回であった(前期間は4回)。監視カメラ(新岳の北西約4kmに設置)による観測では、30日に火口縁上約10mの高さに上がっている白色、ごく少量の噴気が観測された(前期間は19日に同規模の噴気を観測)。

◆ 諏訪之瀬島 レベル3 (小規模な噴火の可能性)

期間中、噴火はなかった(前期間は21日に集落(御岳の南南西約4km)で降灰が確認された)。地

震活動も静穏で、噴煙活動等の観測データにも特段の変化はなかった。

表 2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
浅間山	火山観測情報第 86 号	24 日 16:00	前日及び当日 00 時～15 時の活動状況（噴火はなし、噴煙・火映・鳴動・地震・微動・地殻変動の状況・火山ガス観測結果（92 号）及び上空の風の予想）。レベルは 3。
	↓（1 日 1 回発表） 火山観測情報第 92 号	↓ 30 日 16:00	
三宅島	火山観測情報第 163 号	24 日 09:30	前日 15 時～当日 09 時もしくは当日 09～15 時の活動状況、及び上空の予想。
	↓（1 日 2 回発表） 火山観測情報第 176 号	↓ 30 日 16:30	
阿蘇山	火山観測情報第 12 号	25 日 11:00	火山活動は引き続きやや活発（地震やや多い）。レベルは 2。
口永良部島	火山観測情報第 14 号	25 日 14:00	やや活発な火山活動継続。レベルは 2。